1．総　　説

1．1　設置目的

本学では平成16年4月に国際交流推進機構を設立し，担当理事のもとで国際交流協定校を増加させ，また留学生受け入れ数も少ないながら順調に伸ばしてきた。平成27年度で留学生の受け入れ数は210人にのぼり，過去最高となった。国際交流推進機構は平成20年度に国際交流センターとなり，平成23年度以降，日本語教育専任教員3名と，非常勤講師数名の体制で日本語教育事業に従事している。

センターの主な役割としては，留学生に対する日本語教育とともに，①国際戦略の策定，②広報および地域の国際化支援，③留学生支援，④日本人学生の海外留学支援，⑤国際交流教育が挙げられ，大学全体の国際交流がより組織的に，活発に行われるよう，専任教員を中心としてセンターが機能することが期待されている。

1．2　沿　　革

平成20年１月　教育研究評議会において学内措置としてセンターの設置が了承
平成20年４月　センター発足　大学本部棟国際交流課にセンター長室を置き，センター長（兼任），副センター長（兼任）の体制でスタート
平成20年６月　専任教員（准教授）1名採用　教育文化学部内に研究室を借用
平成22年４月　一般教育1号館に移動し，教員研究室2室，多文化交流ラウンジを新設
平成22年８月　専任教員（准教授）1名採用
平成22年９月　センター長室を新設
平成23年４月　専任教員（助教）１名採用　専任教員3名体制
平成25年３月　専任教員（准教授）1名退任
平成25年４月　専任教員（助教）1名採用
平成26年３月　専任教員（准教授）1名，専任教員（助教）1名退任
平成26年４月　専任教員（助教）2名採用　専任教員3名体制